

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3921330号
(P3921330)

(45) 発行日 平成19年5月30日(2007.5.30)

(24) 登録日 平成19年2月23日(2007.2.23)

(51) Int. Cl.

F I

A 4 1 D 13/12 (2006.01)

A 4 1 D 13/12

A 4 1 B 9/02 (2006.01)

A 4 1 B 9/02

P

A 4 1 B 9/04 (2006.01)

A 4 1 B 9/04

D

A 4 1 D 1/06 (2006.01)

A 4 1 D 1/06

Z

A 4 1 D 27/22 (2006.01)

A 4 1 D 1/06

5 O 1 Z

請求項の数 1 (全 5 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2000-128677 (P2000-128677)

(22) 出願日 平成12年4月28日(2000.4.28)

(65) 公開番号 特開2001-303320 (P2001-303320A)

(43) 公開日 平成13年10月31日(2001.10.31)

審査請求日 平成16年2月20日(2004.2.20)

(73) 特許権者 397052251

戸高 禮子

大分県大分市長浜町1-9-15-303

(74) 代理人 100083699

弁理士 高松 利行

(72) 発明者 戸▲高▼ 禮子

大分県大分市南春日町8番3号

審査官 仁木 浩

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 非健常者用衣服

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

非健常者用衣服としての女性用のパンツであって、股下部が上下方向へ折り返し自在となっており、股下部の先端部裏面と本体部の中央下部に互いに着脱自在な係着部を設けるとともに、股下部の先端部に指掛部を設けたことを特徴とする非健常者用衣服。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、身障者、老人、病人などの非健常者が装着する非健常者用衣服に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

身障者、老人、病人などの非健常者は自力で衣服を脱着することは困難であり、したがって看護人が脱着の手助けをしている場合が多いが、例えば用を足す場合には、ズボンやパンツなどの下半身や腰部に装着する衣服は、看護人の手を借りずに非健常者が独力でその脱着を行えることが望ましい。しかしながら非健常者は健常者と同様の衣服を装着していたため、独力でその脱着を行うことは難しく、脱着のたびに看護人の手助けを受けている実情にあった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

したがって本発明は、非健常者が独力で脱着をしやすい衣服を提供することを目的とする。

【 0 0 0 4 】

【課題を解決するための手段】

本発明は、非健常者用衣服としての女性用のパンツであって、股下部が上下方向へ折り返し自在となっており、股下部の先端部裏面と本体部の中央下部に互いに着脱自在な係着部を設けるとともに、股下部の先端部に指掛部を設けた。

【 0 0 0 5 】

したがって、非健常者は、指掛部に指を掛け、また係着部を着脱することにより、独力で衣服を脱着することができる。

【 0 0 0 6 】

【発明の実施の形態】

(実施の形態 1)

図 1 (a) は非健常者である女性のパンツの開放状態の正面図、図 1 (b) は同閉じた状態の正面図である。このパンツ 1 は、本体部 2 と、本体部 2 から下方へ伸びる上下方向へ折り返し自在な細長い股下部 3 から成っている。股下部 3 の先端部裏面には植毛部などの係着部 4 が装着されており、また本体部 2 の中央下部にも植毛部などの係着部 5 が装着されている。また股下部 3 の先端部と本体部 2 の中央下部の側部にはループ状の指掛部 6、7 が装着されている。

【 0 0 0 7 】

図 1 (b) に示すように、股下部 3 を折り上げて係着部 4 を係着部 5 に付着させて着衣する。また図 1 (a) に示すように係着部 4 を係着部 5 から取り下せば股下部 3 は解放され、用を足すことができる。このように股下部 3 を上げたり下ろしたりして脱着する作業は、指掛部 6、7 に指先を掛けることにより、非健常者は独力で行うことができる。

【 0 0 0 8 】

(実施の形態 2)

図 2 (a) は非健常者である男性のパンツの正面図、図 2 (b) は同パンツの部分正面図、図 2 (c) は指掛け部の側面図である。

【 0 0 0 9 】

図 2 (a) において、パンツ 1 1 の中央部は左右に開閉自在となっている。図 2 (b) は中央部を開いた状態を示している。中央部の一方の側端部表面には植毛部などの係着部 1 2 が装着されており、また他方の側端部裏面にはこの係着部 1 2 に着脱される植毛部などの係着部 1 3 が装着されている。

【 0 0 1 0 】

一方の側端部の上部にはループ状の指掛部 1 4 が取り付けられており、他方の側端部の上部にもループ状の指掛部 1 5 が取り付けられている。また他方の側端部の表面には帯状の指掛部 1 6 が取り付けられている。図 2 (c) に示すように、この指掛部 1 6 はタテ長であり、その上端部 1 6 1 と下端部 1 6 2 が生地縫いつけるなどして装着されており、中央部 1 6 3 に指先が入れられるようになっている。

【 0 0 1 1 】

したがってこのものも、非健常者は係着部 1 2、1 3 を着脱したり、指掛部 1 4、1 5、1 6 に指先を入れるなどして、独力でこのパンツ 1 1 の前を開き用を足すことができる。

【 0 0 1 2 】

(実施の形態 3)

図 3 は非健常者である女性のズボンの正面図であって、図 3 (a) は股下部を閉じた状態、図 3 (b) は股下部を開いた状態を示している。

【 0 0 1 3 】

ズボン 2 1 の股下部はチャック部 2 2 となっており、チャック部 2 2 にはループ状の指掛部 2 3 が取り付けられている。したがって指掛部 2 3 に指先を掛けることにより、チャック部 2 2 を容易に開閉することができる。また両脚部 2 4 等の適所には帯状の指掛部 2 5

10

20

30

40

50

が複数装着されている。この指掛部 2 5 は図 2 (c) に示す指掛部 1 6 と同様のものである。

【 0 0 1 4 】

したがってこのものも、非健常者は指掛部 2 3、2 5 に指先を掛けるなどして、容易に股下を開閉したりあるいはこのズボン 2 1 を着脱したりすることができる。

【 0 0 1 5 】

(実施の形態 4)

図 4 は非健常者である男性のズボンの正面図であって、図 4 (a) は下腹部を閉じた状態、図 4 (b) は下腹部を開いた状態を示している。

【 0 0 1 6 】

ズボン 3 1 の下腹部はチャック部 3 2 となっており、チャック部 3 2 にはループ状の指掛部 3 3 が取り付けられている。また脚部 3 4 などの適所にも指掛部 3 5 が複数取り付けられていた。

【 0 0 1 7 】

したがってこのものも、非健常者は指掛部 3 3、3 5 に指先を掛けるなどして、容易に下腹部を開閉したり、あるいはズボン 3 1 を脱着したりすることができる。なおチャック部 3 2 に替えて、植毛部を装着してもよい。

【 0 0 1 8 】

【 発明の効果 】

以上説明したように本発明によれば、非健常者は指掛部に指を掛け、また係着部を着脱することにより、独力で衣服を脱着することができる。

【 図面の簡単な説明 】

【 図 1 】 (a) 女性用パンツの開いた状態の正面図

(b) 女性用パンツの閉じた状態の正面図

【 図 2 】 (a) 男性用パンツの正面図

(b) 男性用パンツの部分正面図

(c) 指掛部の側面図

【 図 3 】 (a) 女性用ズボンの閉じた状態の正面図

(b) 女性用ズボンの開いた状態の正面図

【 図 4 】 (a) 男性用ズボンの閉じた状態の正面図

(b) 男性用ズボンの開いた状態の正面図

【 符号の説明 】

1 女性用のパンツ

2 本体部

3 股下部

4、5、1 2、1 3 係着部

6、7、1 4、1 5、1 6、2 3、2 5、3 3、3 5 指掛け部

1 1 男性用のパンツ

2 1 女性用のズボン

3 1 男性用のズボン

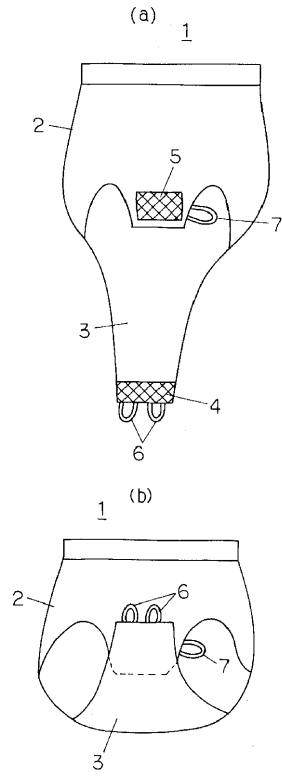
10

20

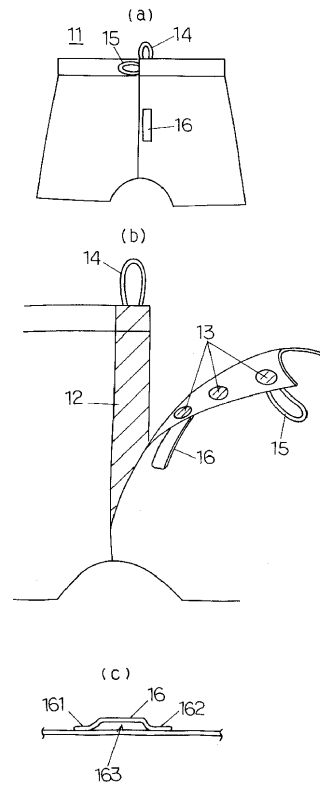
30

40

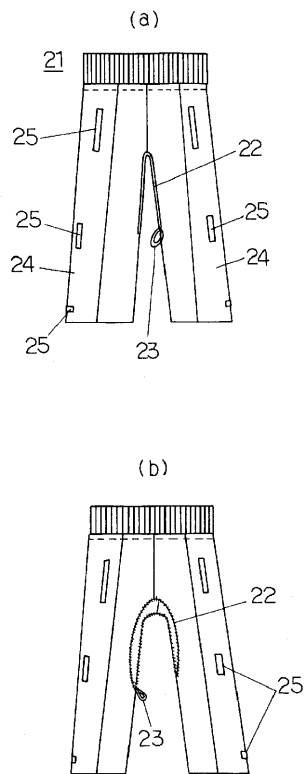
【図 1】



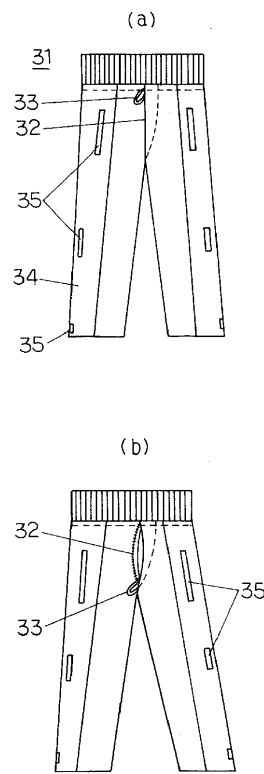
【図 2】



【図 3】



【図 4】



フロントページの続き

(51) Int.Cl. F I
A 4 1 D 1/06 5 0 2 Z
A 4 1 D 27/22

(56) 参考文献 登録実用新案第 3 0 6 2 8 7 0 (J P , U)
特開平 1 1 - 0 4 3 8 0 1 (J P , A)
特開平 1 0 - 0 3 7 0 1 2 (J P , A)
特開平 0 6 - 2 9 9 4 0 2 (J P , A)
特開平 0 6 - 3 0 4 1 9 6 (J P , A)
特開平 1 0 - 2 1 6 1 6 5 (J P , A)
登録実用新案第 3 0 1 7 4 2 8 (J P , U)

(58) 調査した分野(Int.Cl. , D B 名)

A41D 13/12
A41B 9/02
A41B 9/04
A41D 1/06
A41D 27/22